



WICI

The World Intellectual
Capital/Assets Initiative

WICI 概要

2020年6月

組織概要

WICI Profile

名称：WICI (The World Intellectual Capital/Assets Initiatives)

創立：2007年11月

WICI (The World Intellectual Capital/Assets Initiative)は2007年に発足し、民間部門から事業会社、財務アナリスト、投資家、さらに官公庁や大学等の研究者が参加し構成されている。日本における活動拠点として2008年よりWICI Japanを設立された。

ビジョン：

企業が自らの強みの源泉である知的資産（人的資産、組織資産、関係資産）を認識し、これらを貨幣資産および物的資産と合わせて最適に組み合わせるように活用して、その企業なりの**価値創造**を行う経営を実践し、この**知的資産経営**が適切に評価されるような世の中を作る。これにより、企業が有する固有の資源を最も効率的に活用して創造される価値を経済社会全体としても最大化するとともに、そうした独自の経営による価値創造を持続的なものとする。これらを通じて、短期の利益に集中した拝金主義の資本主義ではない、人間的な、持続可能性のある資本主義の実現に資する。

○設立: 2007年

2004年～経済産業省が主導したOECDの「知的資産と価値創造」プロジェクトで日本から知的資産経営による価値創造の重要性を提唱。それに共感した欧米のメンバーからの発案で日米欧のネットワーク組織として発足

○ミッション: 非財務資産の活用による価値創造を加速する（詳細別紙）

○開発・公表してきた主なコンテンツ

- ・開示フレームワーク（2008年）、WICIコンセプト（2011年）
- ・KPIコンセプト（2010年）及び業種別KPIセット＝電子部品、自動車、製薬、通信等10の産業分野）
- ・無形資産レポーティングフレームワーク（WIRF）（2016年）
- ・海外の様々な新制度へのパブコメに積極的に意見具申

○統合報告関連の活動

- ・統合報告枠組みづくりに深く関与し、日本発の知的資産経営のアイデアをIIRCにインプット
- ・IIRC事務局に研究員を派遣（2010～2013年）、IIRCとMOUを締結（2010年）
- ・IIRCのコネクティビティについてのバックグラウンドペーパーを主筆（2013年）

○シンポジウムの開催

- ・2005年（日経シンポ）以降、毎年知的資産に関するシンポジウムを開催。
- ・2008年以降はWICIシンポジウムとして開催。230～300名が参加。

○統合報告表彰制度

- ・2013年創設。独自の審査により優良企業を選定、シンポジウムで表彰。

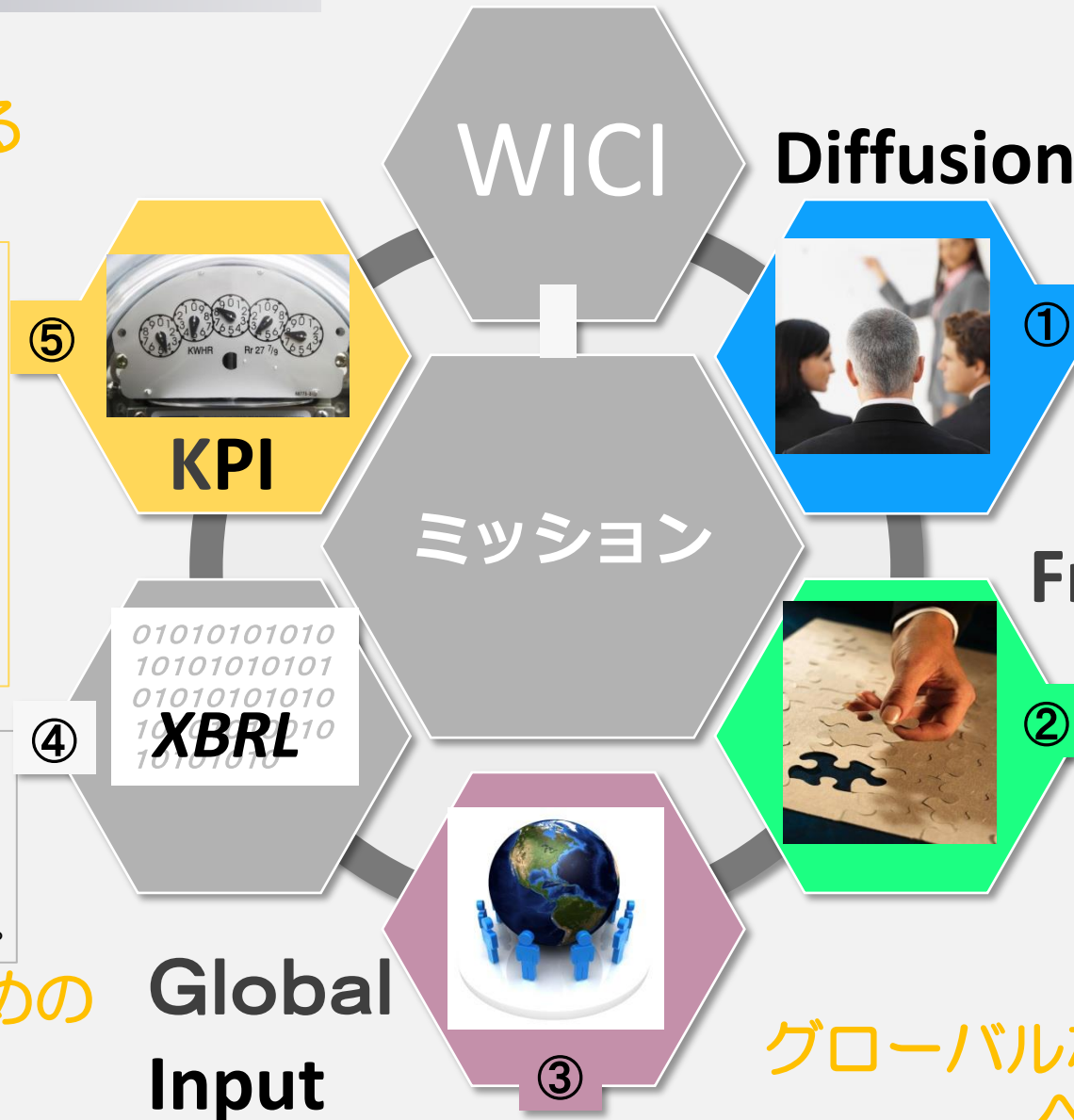
内部管理にも活用する KPIの開発

知的資産経営の実質についての企業の気づきに資するため、プロセス管理を含めた内部管理指標としても使われ得る**指標（KPI）**の例を産業分野別に示す。指標のセット化はせず、経営の実質を踏まえた自由な選択が可能であるとの概念を示し、普及させる。

従来の報告書にとらわれず、新しい時代のコミュニケーションに移行すること念頭に、**XBRL**などの**技術**を当初段階から組み込んだ枠組みを示す、不断の改善を行う。

開示円滑化のための ツール開発

国際的な開示枠組みの開発にも参画し、グローバルに認知される枠組みにWICIのアイデアをインプットする。



Diffusion

企業での実践の支援

知的資産経営の概念を多くの企業や投資家が正しく理解し、企業が実践するための**啓蒙活動**を行う。

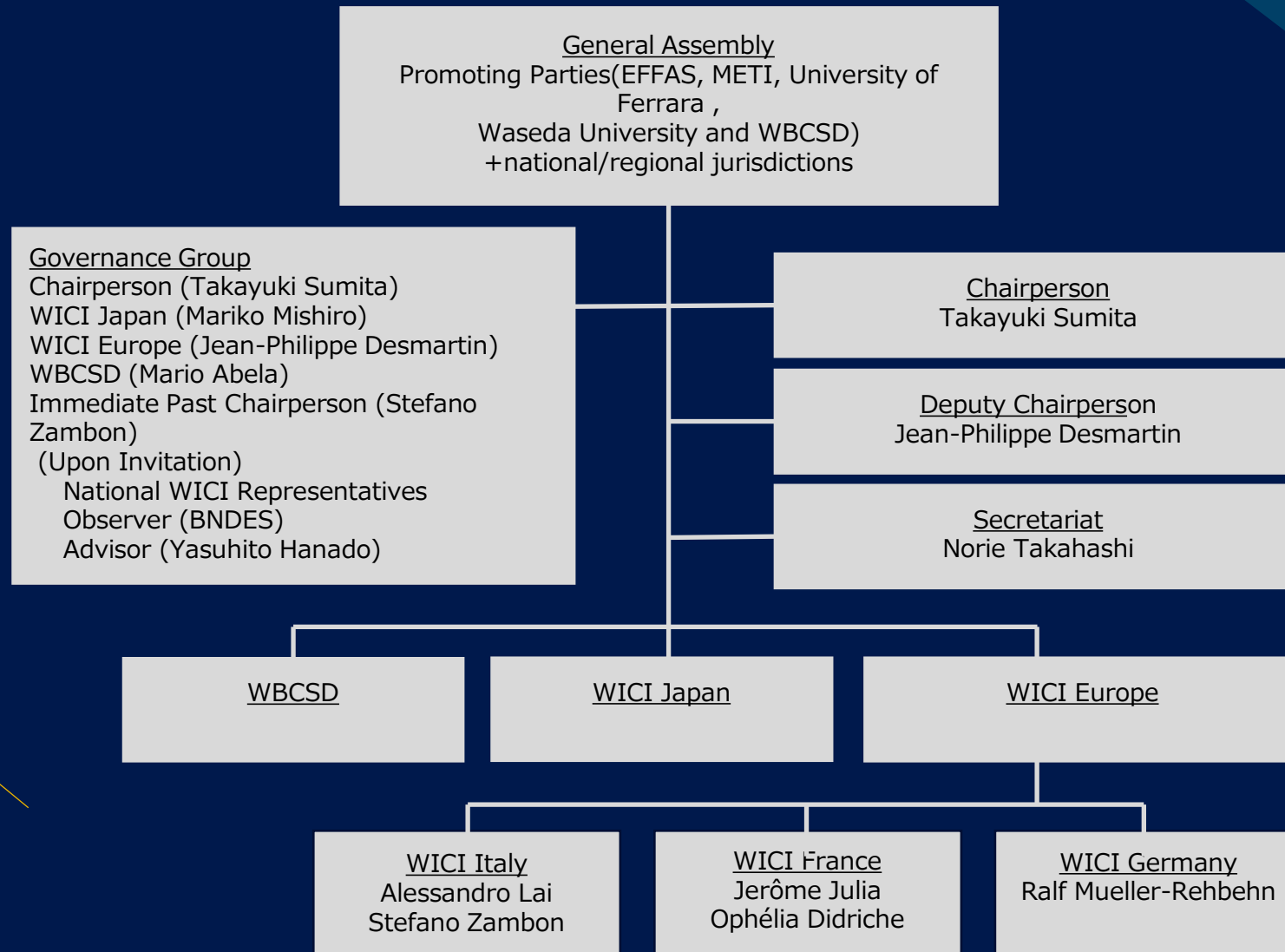
Framework

知的資産経営についてステークホルダーと企業との適切なコミュニケーションが行われるためのツールとしての**開示枠組みを提示**し、継続的な改善を図る。

開示枠組みの提示

グローバルな開示枠組み開発 への参画

⇒IIRC,EU,GRI,IASB・・・



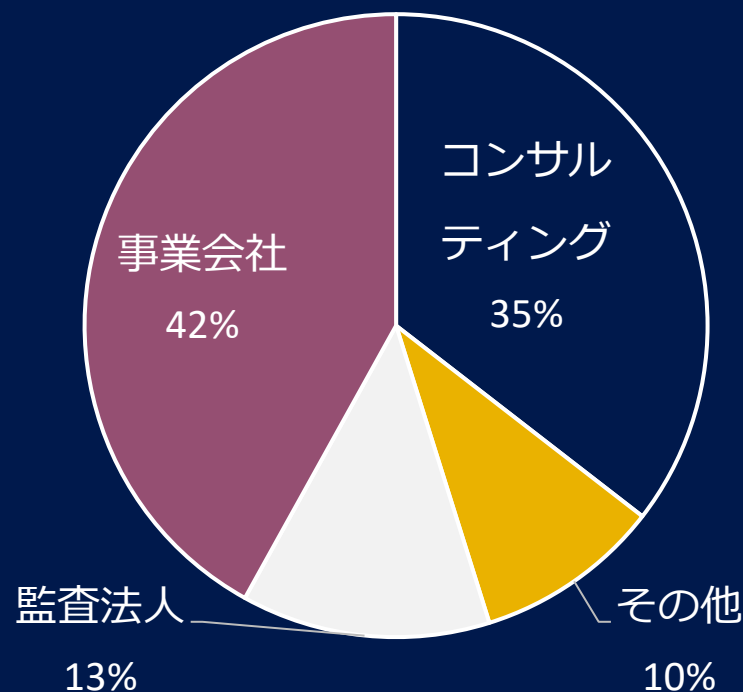
(注1) 創設時は、米国の代表としてEBRCがメンバー。2016年に脱退。2018年からWBCSDが参加。

(注2) WICI会長は、従来、日米欧が順番に担当。2009-13日本(住田)、13-15米国、15-19欧州、19年7月から再度日本(住田)

WICIの特徴

- グローバル組織であり、**10年を超える活動**の歴史
 - ・ 実質面では、最も活動が長く・盛んなW I C I - J がリード。
 - ・ 欧州では、独、伊、仏で組織が強化。昨年からW B C S D が参加。
 - ・ I I R C、E U、S A S B など**グローバルな組織との強いネットワーク**
- **特定のスポンサーがあるわけではない**ので、主張にバイアスがかからない。
- **無形資産（特に知的資本）の報告・開示について主体的に取り組む唯一の団体**
 - ・ 無形資産報告の枠組み（W I R F）を開発（2016年）しI I R Cも追認
- **I I R Cとの深い関係**
 - ・ 統合報告のフレームワーク作成における協同作業
 - ・ I I R C 幹部との人的ネットワーク、信頼関係
 - ・ W I C I 会長がI I R C カウンシルにメンバーとして参画
 - ・ 2019年3月には、S D G s と無形資産について共同文書を発出。
B 2 0 等に働きかけ

法人会員：31社
個人会員：36名



既存会員へのサービス向上に向けて

- ・ 定例研究会の運営体制や内容を見直し、質の高い講演内容の手配と会員同士の交流を促す枠組みを確立し、参加者の満足度を図る。
- ・ コンテンツ広報委員会を発足させ、コンテンツの研究と編集を進め、外部への発信も進めている。
- ・ 会員への情報発信を強化するため、W I C I 会員専用サイトでのコンテンツを拡充し、より有益な情報（動画等）を提供する体制を整える。今後はオンラインセミナーも検討する。

新規会員の獲得に向けて

- ・ 対外的な広報戦略を策定し、W I C I の活動内容に合わせたコンテンツの構築とタイムリーな情報発信を展開する。

WICI Japanの活動

- 定例研究会 毎月第三木曜日前後の夕方
現在はWeb形式にて実施
- 分科会活動
 - ・ **非財務に関する分科会**：企業の「非財務」にフォーカスし、企業開示に関するグローバルな動向を捉え、日本企業にとって望ましい開示の在り方について検討する。
 - ・ **スポットライト分科会**：組織の価値創造ストーリーを映し出す多様なアプローチを検証し、ステークホルダーに対して価値創造プロセスやOutcomeを解り易く映し出すためには何が必要か議論する。
- 統合報告優秀賞の審査と表彰（2012年より毎年実施）
- シンポジウム（2008年より毎年1回）
 - ・ 2019年11月30日（日）早稲田大学@小野記念講堂にて開催
テーマは「見えない資産の時代におけるガバナンスと価値創造のあり方
～これからの統合報告～」
 - ・ 2020年12月2日（水）開催。Web&一部リアル？
テーマは「非財務が紡ぐこれからの価値創造ストーリー」



WICI

The World Intellectual
Capital/Assets Initiative

WICI Japan事務局



早稲田大学大学院経営管理研究科
西山茂研究室内 瀬川知恵子



03-5286-1478



wici-japan-questions@wici-global.com



<https://www.wici-global.com>